

県大会へ13クラブと北信越へ野球部

県央工業高校壮行会 全校が大音量で応援歌

野球部投手で活躍する堀生徒会長 県央工業の誇りを胸に 仲間たちにエール送る



春の県大会準優勝の表彰伝達を受ける野球部

三条市の県立新潟県央工業高校(大湊卓郎校長・生徒五百六十人)は二十一日午前十一時四十分から同校体育館で、運動部の県大会出場十三クラブと北信越大会に出場する野球部の壮行会を開き、全校生徒が大音量の応援歌と校歌を歌って激励。野球部には後援会と同窓会からの激励費も贈って健闘を祈った。

県央工業からは春の地区大会で、剣道、サッカー、バレーボール、柔道、卓球、レスリング、山岳、弓道、バスケットボール、ソフトテニス、ウエートリフティング、バドミントン、陸上の十三クラブが団体や個人で優勝や上位入賞を果たして県大会に出場する。

野球部は北信越大会県予選で決勝に進み、決勝では中越高校に敗れたものの準優勝し、六月六日から九日まで長野県の長野市と上田市で開かれる春の北信越高校野球大会に県代表で出場する。

壮行会では、各部の活躍を紹介するDVDを上映したあと、県大会出場

十三クラブと北信越出場の野球部がそれぞれユニホーム姿で入場行進した。

整列した選手たちを前に大湊校長が「努力しても結果がついて来ない」とはあるが、その逆はない。応援してくれる仲間たちや支えてくれる多くの人たちのためにも自信をもち、持てる力を十二分に発揮して来てほしい」と激励した。



大湊校長の激励を受ける選手たち

自分たちの活躍、そして全国大会出場を夢見て励んでほしい。『県央工業ここにあり』という姿を見せてください」と激励した。

自らも野球部の投手として北信越大会に出場する堀俊介生徒会長は「県央工業の誇りを胸に戦って来てください」と仲間たちにエールを送った。

さらに、選手を代表し、八年ぶりの県大会出場を決めたサッカー部の樋口大賀選手(三年生)は県大会での団体優勝や、個人の上位入賞選手に表彰状やトロフィーを大湊校長から伝達。

さらに野球部には県大会準優勝の賞状とトロフィーを伝達し、さらに松



地区大会の表彰



選手を代表して表彰の樋口大賀選手(サッカー部)